

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組No.	評価
①	・県が定めた中期目標に基づき大学が定めた中期計画及び年度計画により、看護科学大学では学部4年間での看護師教育を全国に先駆けて開始した。芸術文化短期大学では人文系でインターンシップを実施し、社会人として必要なことを体験させるなど、キャリア教育を充実させた。
②	・県が定めた中期目標に基づき大学が定めた中期計画及び年度計画により、看護科学大学では、「健康増進プロジェクト」の一環として各市町村、公民館等において、地域住民を対象とした健康教室を開催した。芸術文化短期大学では、竹田市で講座やワークショップを開催するなど、地域社会との連携を強化した。
③	・ネット上で現役留学生、留学生OB等が交流できる場を設けるとともに、県や県内事業者が海外展開する際の情報発信及び収集の場として活用した。

【V. 施策を構成する主要事業の評価】

取組No.	事業名	事務事業評価		事業コスト (千円)
		総合評価	掲載頁	
①	1 公立大学法人運営費交付金	見直し(24年度)効率化の推進	19、62	1,134,078
③	1 次世代電磁力応用技術開発事業	現状維持	—	30,782

【VI. 主な取り組みの進捗状況・今後の課題】

進捗状況	取組No.①～③の全てにおいて、概ね順調に進んでいる。	
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・県立大学の改革推進のため、カリキュラムの改編及びその検証等により、教育の質を向上 ・地域への貢献として、生涯学習等地域のニーズに応える取組を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・大分高等教育協議会と連携し、大学連携の事例や手法等の情報を全庁で共有することにより、新しい分野での取組を推進

【VII. 施策に対する意見・提言】

○「安心・活力・発展プラン2005」中間見直し策定委員会(H23.7) ・高等教育サービスを受ける住民の多様なニーズに応えることができるような大学間の連携を進めていく必要がある。	
--	--

【VIII. 今後の施策展開について】

今後の方向性	施策展開の具体的内容
拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・カリキュラムの改編の検討、実施等により、教育の質の向上を図る。 ・定期的な健康教室の開催や、継続的な公開講座の実施など、地域のニーズに応える活動を展開する。 ・地域の知の拠点である大学が行政や地域と連携して地域課題に取り組む体制を構築する。